

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文
平成27年5月25日 NO.4 (73)

教育実習開始

5月25日より3週間にわたり、3人の学生が教育実習を行うことになりました。教育実習は、教員に必要な教員免許を取得するために義務付けられている実習科目です。実際の教育現場で児童を対象に「先生」を体験実習します。この期間中は、実際の先生方と同じように毎日通勤し、学校業務の仕事を行います。自分で授業を計画・立案し、児童の前で授業実践をします。実習生にとっては、学生生活とは違い期待と不安があるかと思いますが、学校全体で応援していきたいと思えます。健康に留意し、感動と喜びの3週間になってほしいと願っています。以下3人の自己紹介と抱負を掲載いたします。

これから3週間、国立七小で教育実習をさせて頂く、東京学芸大学4年の青戸祐樹(あおと ゆうき)です。島根県松江市生まれ、世界で活躍するテニスプレイヤー、錦織 圭選手と同じ小学校の出身です。私は、小学生の頃から、学校の先生になりたいと考えていました。錦織選手が世界の大会で活躍し、将来の夢である世界チャンピオンに近づくニュースを見る度に、私は感心する一方、自分の励みにもなっていて、教師への想いも強くなっていきます。私は、人と人とのつながりは、自分の財産になると考えています。国立七小で教育実習をさせて頂けることは、皆さんとのご縁があったからであり、この出会いを大切にしていきたいです。

先生方の考えや技術を思う存分吸収し、実践して、子どもたちのより良い学びに少しでも繋げていけたらと思います。貴重な学校現場での生活、1秒1秒を大事にし、実りある教育実習にしていきたいです。3週間という短い間ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。(青戸祐樹：4-2)

5月25日から3週間、国立第七小学校で教育実習をさせて頂きます、東京学芸大学教育学部4年の鈴木智子です。好きなことは食べることで、小学校の頃は給食が大好きでした。教育実習は不安や緊張もありますが、子どもたちと充実した時間が過ごせるよう積極的に取り組んでいこうと思います。

私の教育実習での目標は、より深い児童理解と子どもの興味を引き出す授業の実践です。3週間という限られた時間の中で、できるだけ多く子どもたちと関わり、子どもたちの興味・関心を捉え、1人1人の良いところを理解したいと考えています。また、自己満足に終わらない、子どもたちが学びたくなるような授業の実践を目指します。授業を参観する際は、七小の先生方の技を少しでも多く盗みにいきます。

30日の運動会も楽しみにしています。子どもたちと一緒に、私も練習をがんばります。短い間ではございますが、精一杯取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願い致します。(鈴木智子：1-2)

5月25日より3週間、教育実習をさせていただくことになりました、東京学芸大学四年の奥村早貴と申します。大学では教育学部の音楽選修という学科で、教育の勉強と並行して、音楽をより専門的に学んでいます。

私は小学生の頃から「先生」という職業に憧れを抱いていました。自分の頑張りをしっかりと見てくれ、「頑張ったね」と声をかけてくださった小学校の音楽の先生のことはいまでも覚えています。私もそのような、子ども達の心に残る先生になれたらと思っております。教育実習では子ども達の大切な勉強の時間に関わらせていただくという責任感を持って、しっかりと教材研究をし、「子ども達が意欲や興味を持って取り組める授業ってなんだろう？」と常に模索しながら授業作りに取り組んでいきたいです。また、授業以外の時間はたくさん子ども達と遊び、話したいと思っています。

3週間、精一杯頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。(奥村早貴：3-1)